

第5次国有林野施業実施計画書

(静岡森林計画区)

計画期間
自 平成27年4月1日
至 平成32年3月31日

関東森林管理局

目 次

1	国有林野の区画の名称及び区域並びに機能類型及びエリア別の区域	1
2	施業群の名称及び区域、伐期齢又は回帰年、上限伐採面積、伐採箇所ごとの 伐採方法及び伐採量並びに更新箇所ごとの更新方法及び更新量	1
(1)	伐採造林計画簿	1
(2)	水源涵養 ^{かん} タイプにおける施業群別面積等	1
(3)	水源涵養 ^{かん} タイプの施業群別の上限伐採面積	2
(4)	伐採総量	3
(5)	更新総量	5
(6)	保育総量	5
3	林道の整備に関する事項	6
4	治山に関する事項	7
5	保護林及び緑の回廊の名称及び区域	8
(1)	保護林の名称及び区域	8
(2)	緑の回廊の名称及び区域	8
6	レクリエーションの森の名称及び区域	9
7	公益的機能維持増進協定の名称及び区域	10
8	その他必要な事項	10
(1)	施業指標林、試験地等	10
(2)	フィールドの提供	11
(3)	森林共同施業団地	11
(4)	その他	11

1 国有林野の区画の名称及び区域並びに機能類型及びエリア別の区域

国有林野の区画の名称及び区域並びに機能類型及びエリア別の区域については、別添国有林野施業実施計画図による。

2 施業群の名称及び区域、伐期齢又は回帰年、上限伐採面積、伐採箇所ごとの伐採方法及び伐採量並びに更新箇所ごとの更新方法及び更新量

(1) 伐採造林計画簿

伐採・更新箇所ごとの伐採・更新面積及び方法等については、伐採造林計画簿に示すとおりである。

(2) 水源涵養^{かん}タイプにおける施業群別面積等

(単位：面積ha、伐期齢 年)

施業群	面積	取扱いの内容	伐期齢又は回帰年
スギ長伐期	517.28	伐採面積の縮小、モザイク的配置	90
スギ分散伐区	199.48	〃	45(55)
ヒノキ長伐期	1,490.70	〃	100
ヒノキ分散伐区	592.30	〃	60
カラマツ長伐期	82.00	〃	100
スギ複層林	22.68	水源涵養機能等に配慮した非皆伐	45～90
ヒノキ複層林	107.88	〃	60～120
天然林漸伐分散伐区	151.17	伐採面積の縮小、モザイク的配置、伐採率の縮小	70
択伐	4,712.02	(注1)	回帰年は定めない
その他	331.06	(注2)	定めない
設定外	154.26	(注3)	定めない
合計	8,360.83		

- (注) 1 択伐施業群の伐採は森林の管理経営の指針で定める伐期齢以上とし、水源涵養機能の発揮に配慮しつつ隣接林分の主伐、間伐時に併せるなど適時に行うものとする。
- 2 保護樹帯の伐採は、保護樹帯設定基準によるものとする。
- 3 施業群設定外は分収林、更新困難地等の特定の施業方法を設定することが適当でない林地とする。
- 4 面積は林地面積を計上している。
- 5 伐期齢又は回帰年の()書きは、川根本町に適用。

(3) 水源涵養^{かん}タイプの施業群別の上限伐採面積

(単位：ha)

施業群	上限伐採面積	摘要
スギ長伐期	29	
スギ分散伐区	18	
ヒノキ長伐期	75	
ヒノキ分散伐区	49	
カラマツ長伐期	4	
スギ複層林	3	
ヒノキ複層林	9	
択伐	471	
天然林漸伐分散伐区	11	
その他	33	
合計	702	

(4) 伐採総量

(単位：材積 m^3)

区 分	林 地					林 地 以 外	合 計
	主 伐	間 伐	小 計	臨時伐採量	計		
山地災害防止タイプ	—	18,219 (154.84)	18,219				
自然維持タイプ	—	—	—				
森林空間利用タイプ	1,156	506 (4.10)	1,662				
水 源 かん 涵 養 タ イ プ	スギ長伐期	—	3,972	3,972			
	スギ分散伐区	3,707	2,663	6,370			
	ヒノキ長伐期	—	15,527	15,527			
	ヒノキ分散伐区	13,313	8,794	22,107			
	カラマツ長伐期	—	—	—			
	スギ複層林	—	279	279			
	ヒノキ複層林	—	1,334	1,334			
	択 伐	—	—	—			
	天然林漸伐分散伐区	—	—	—			
	そ の 他	—	—	—			
	設 定 外	21,642	2,437	24,079			
計	38,662	35,006 (373.76)	73,668				
合 計	39,818	53,731 (532.70)	93,549	6,249	99,798	—	99,798
年 平 均	7,964	10,746 (106.54)	18,710	1,250	19,960	—	19,960

(注) () は、間伐面積(ha)である。

(再 掲) 市町村別内訳

(単位：材積 m^3)

市 町 村 名	林 地					林地 以外	合 計
	主 伐	間 伐	小 計	臨時伐採量	計		
静 岡 市	—	11,486 (93.08)	11,486				
川 根 本 町	10,891	21,477 (227.90)	32,368				
島 田 市	28,927	20,768 (211.72)	49,695				
合 計	39,818	53,731 (532.70)	93,549				

(注) 市町村内訳には、臨時伐採量及び林地以外の土地に係る伐採量は含まない。

(5) 更新総量

(単位 : ha)

区 分		山地災害 防止タイプ°	自然維持 タイプ°	森林空間 利用タイプ°	水源涵養 ^{かん} タイプ°	合 計
人工 造林	単 層 林 造 成	—	—	—	64.57	64.57
	複 層 林 造 成	—	—	4.56	—	4.56
	計	—	—	4.56	64.57	69.13
天然 更新	天然下種第1類	—	—	—	—	—
	天然下種第2類	—	—	—	—	—
	ぼ う 芽	—	—	—	—	—
	計	—	—	—	—	—
合 計		—	—	4.56	64.57	69.13

(6) 保育総量

(単位 : ha)

区 分		山地災害 防止タイプ°	自然維持 タイプ°	森林空間 利用タイプ°	水源涵養 ^{かん} タイプ°	合 計
保 育	下 刈	—	—	6.84	213.07	219.91
	つ る 切	—	—	—	4.47	4.47
	除 伐	—	—	—	8.93	8.93

3 林道の整備に関する事項

基幹 ・ その他	開 設 ・ 改 良	路 線 名	箇 所 (林 班)	延 長 (m)	備 考
基幹 その他	改 良	南赤石（寸又左岸）	836外	20	ブロック積工
		南赤石（南明石）	617外	50	コンクリート擁壁
		栗代（栗代）	868外	50	ブロック積工
		大井川（大井川）	936外	50	橋梁補修外
		大井川（梅地）	914外	50	ブロック積工
		大代（大代）	1223外	40	橋梁補修外
		蕎麦粒	616外	30	ブロック積工
		峰野	922外	30	ブロック積工
		日向	822外	30	ブロック積工
		大間川	666外	20	ブロック積工
		湯山	663外	80	ロックネット設置
		八高	1223外	50	コンクリート擁壁
		大代東	1217外	50	補修外
		暗沢	1211外	50	補修外
		京塚	1219外	20	ブロック積工
		萩間黒俣併用	1211	30	ブロック積工
	小 計	16路線		650	
その他	開 設	峰野支線	916～920	2,300	
		下別当	906～908	2,050	
		八高峰	906～908	2,500	
		源太沢支線（格上）	1214. 1218	850	
		暗沢南（格上）	1210. 1212	1,700	
		暗沢南	1209	400	
		辰間一号線	1220～1221	1,400	
		大代西一号線（格上）	1212～1215	3,800	
		大代西二号線（格上）	1212～1216	4,800	
		大代西二号線	1214	700	
	小 計	10路線		20,500	
計	開 設	10路線		20,500	
	改 良	16路線		650	

(注) 災害復旧等緊急を要する工事については、指定箇所以外においても実行できるものとする。

4 治山に関する事項

位 置 (林 班)	区 分	工 種	計 画 量
318～323、840、867、868、901～904、908、 912、916、917、919、923～925、944、946、 1202	保 安 施 設	保安林の整備	227ha
305～308、316、325、326、329、936、1204		溪 間 工	30箇所
305～308、313、326、329、617、935、936、 1202、1209、1224		山 腹 工	19箇所
合 計	保安林の整備		227ha
	保 安 施 設	溪間工・山腹工	49箇所

(注) 災害復旧等緊急を要する工事については、指定箇所以外においても実行できるものとする。

5 保護林及び緑の回廊の名称及び区域

(1) 保護林の名称及び区域

当計画区では、原生的な森林生態系からなる自然環境の維持、動植物の保護、遺伝資源の保全を図ることを目的として、下記のとおり保護林を設定しており、適切に保護、保存を図っていくこととする。

種 類	名 称	新既 設別	面 積 (ha)	位 置 (林小班)	特 徴 等
森林生態系 保護地域	南アルプス 南部光岳	既設	保存地区 (1,827.27)	732 全 763 い ₂ 、ろ ₂ 764~766 全 767 い ₂ 、ろ ₂ 770 い、ろ、イ 771~776 全 777 い	この地域は長野県に接する、南アルプス最南端に位置する。光岳、加加森山、中ノ尾根山など2,000mを超える一帯は、大井川に流れ込む寸又川の源流部にあたる。 この地域の主要部分は、人為の介入がほとんどなく、原生的な自然状態が維持されていることに加え、本州中部の太平洋側における山地帯から高山帯に至る典型的な垂直分布が残されている。 これらの原生的な森林生態系を保存することにより、自然環境の維持、植物の保護、遺伝資源の保存、森林施業・管理技術の発展、学術研究等に資する。
			保全利用地区 (1,117.23)	730 全 731 全 733 全 734 全 763 い ₁ 、ろ ₁ 、 は~ぬ 767 い、イ、ロ 769 全 770 ろ 777 ろ~に 778 全 779 い、ろ 780 い~は、と	
	小 計		2,944.50		
森林生態系保護地域計			2,944.50		
植物群落 保護林	安倍峠 オオイタヤ メイゲツ	既設	9.96	313 い ₁	オオイタヤメイゲツが群生し、大径木も多く見られる、希少性が高い森林。
	大 平 コウヤマキ	既設	0.04	332 に ₂	弘法大師にまつわる伝承があるコウヤマキの大木がある。
	梅 地 の アカマツ林	既設	0.83	921 に 922 ほ	この地域において貴重な天然アカマツが群生し、大径木も多く見られる。
植物群落保護林計			10.83		
合 計			2,955.33		

(注) 面積欄は、設定区域の全体面積を計上しているが、実際の保護林の面積は、保護林から除外するべき区域（貸付地等）を除外した面積である。

(2) 緑の回廊の名称及び区域

該当なし。

6 レクリエーションの森の名称及び区域

種類	名称	既設・新設	面積 (ha)	位置 (林小班)	選 定 理 由	施業方法	既存施設の概要	施設整備	備考
自然観察教育林	飛竜橋	既設	251.87	601ろ、は、667は～な、う～お、668は～り、837へ、ち、ぬ ----- 601い、に、ほ、667い、ろ、ら、む、668い、ろ、837い～ほ、と、り、838い ----- 601イ、ロ、667イ、ロ、二、ホ、668イ、837イ、ロ	この森林は、寸又川と大間川の合流点付近を中心とする渓谷風景が、天然林、人工林と相まって優れた自然景観を呈している。 下流には寸又峡温泉があり、散策や自然観察の場として多くの方が訪れており、また、南アルプスへの登山口としても利用されている。 今後、町と連携して整備を推進し、安全に利用できるようにする。	育成複層林へ導くための施業 ----- 天然生林へ導くための施業（以下、天然生林施業という。） ----- 林地以外	整備されている代表的な施設は以下のとおり ・遊歩道 ・園地 ・展望台 ・鉄橋 実施主体： 川根本町	国が整備する施設整備の計画なし	
自然観察教育林			251.87						
風致探勝林	千石平	既設	265.42	615ろ、616い、617ろ、は、618い、619い、た、620い、ろ、621い、ろ、622い、628は、に	雨水等で侵食作用が進む急傾斜地の多い当地域で、山犬段と呼ばれる、稜線部でありながら平坦な地形が特徴の場所である。明石山脈の雄大な景観や千石平に広がるモミ、ツガ、ブナを主とする天然林の優れた景色を眺望でき、自然探勝の場として利用されている。 今後、利用者の安全に配慮し巡視の強化に努めることとする。	天然生林施業	整備されている代表的な施設は以下のとおり ・休憩所 ・水場 ・遊歩道 実施主体： 川根本町・国	国が整備する施設整備の計画なし	
風致探勝林			265.42						
合 計			517.29						

7 公益的機能維持増進協定の名称及び区域

該当なし。

8 その他必要な事項

(1) 施業指標林、試験地等

種類	名称	設定年	面積 (ha)	位置 (林小班)	備考
試験地	天然林除伐 施業試験地	平 3	6.00	801 へ内	有用広葉樹の密度管理の 統計資料を収集し、育成 技術の確立を図る。
	〃	平 3	5.50	810 と ₁ 内	広葉樹二次林における目 的木の管理育成技術の確 立を図る。
	大代ヒノキ 収穫試験地	昭 24.12	1.48	1222 に	成長量、収穫量及びその 他の統計資料を収集し、 林分構造の推移を解明する。
試験地計			12.98		
展示林	センペルセコイア 展示林	平 4. 9	0.25	1213 ほ	外国樹種を導入している 高齢の林分。
展示林計			0.25		
次代 検定林	一般次代検定林	昭 55. 5	1.26	635 わ	(関東44号)
	〃	昭 53. 3	0.62	1216 ち ₂	(関東36-1号)
	〃	昭 53. 3	0.35	1216 と ₂	(関東32号)
次代検定林計			2.23		
試植 検定林	スギ試植林	昭 44. 3	0.60	922 ぬ	(関東レ号)
試植検定林計			0.60		
遺伝子 保存林	ヒノキ 遺伝子保存林	昭 57	0.95	667 は	
	〃	昭 44. 5	0.65	778 は	
	クマスギ 遺伝子保存林	昭 46. 4	6.78	805 ろ ₂	
	ウラジロモミ 遺伝子保存林	昭 45. 4	5.30	816 ろ ₂	
	ヒノキ 遺伝子保存林	昭 57	1.06	923 ほ	
遺伝子保存林計			14.74		

種類	名称	設定年	面積 (ha)	位置 (林小班)	備考
精 英 樹 保 護 林	スギ千頭 2 号	昭 33. 12	0. 10	946 む	
	スギ千頭 3 号	昭 36. 11	0. 12	935 へ	
	スギ千頭 4 号	昭 36. 11	0. 15	666 そ	
	スギ千頭101号	昭 41. 12	—	610 ろ内	
	スギ掛川 1 号	昭 37. 1	0. 07	1209 ほ	
	ヒノキ千頭 1 号	昭 33. 11	0. 18	899 と	
	ヒノキ千頭 2 号	昭 35. 12	0. 07	912 と	
	ヒノキ千頭 5 号	昭 36. 11	0. 05	635 ほ	
	ヒノキ掛川 1 号	昭 37. 1	0. 12	1218 り	
精 英 樹 保 護 林 計			0. 86		
合 計			31. 66		

(2) フィールドの提供
該当なし。

(3) 森林共同施業団地
該当なし。

(4) その他

レクリエーションの森以外の森林空間利用タイプの施業方法

位 置	面 積 (h a)	施 業 方 法
602ろ、は、ほ～る、833 に、834 ろ、 は、1211い、1218ち～ぬ、1223い、か	31. 4	育成複層林へ導くための施業
602い、に、699と、670ろ、830い、ろ、 833い、ほ、834い、に、1212に、1222ほ、 1223ぬ	84. 21	天然生林へ導くための施業
667ハ、830イ、833イ	4. 44	林地以外
計	120. 05	